

承認番号	3859
研究課題名	腎移植レシピエントにおけるサルコペニア、フレイル、メタボリックシンドロームの検討
研究の意義・目的	<p>多くの高齢者は健常な状態から筋力が衰える「サルコペニア」という状態を経て、さらに生活機能が全般に衰える「フレイル」となり要介護状態に至る。腎移植レシピエントはCKD患者であり、ステロイドを内服しているため合併症として骨粗鬆症、骨格筋の減少が認められる。また、腎移植レシピエントは免疫抑制剤を内服しているため合併症(脂質異常症・糖尿病・高血圧)からメタボリックシンドロームになりやすい。</p> <p>上記により、腎移植レシピエントにおいてメタボリックシンドロームとフレイル、サルコペニアが合併している可能性があり、それらの頻度および影響をもたらす因子について判明することにより、今後、栄養管理、運動指導による介入を行い予防することが可能となる。</p>
研究期間	承認後 ～ 2018年12月31日(西暦)
研究対象者の範囲	平成29年4月1日～平成30年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、腎移植外来に受診された通院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	血液検査、尿検査、In body、診療記録
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する → 「共同研究機関の情報」にも記載が必要 <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける → 「共同研究機関の情報」にも記載が必要 <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である → 「代表施設のURL」を記入してください。 <input type="checkbox"/> 試料・情報を公表する → 「試料・情報を公表する方法」を記入してください。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	内田 潤次
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	外来受診時に直接 担当者：内田 潤次